

船室について

- 全室シャワー・トイレ・冷蔵庫完備です。
- 船室は、上段ベッド付きとなる場合がございます。指定はお受けできません。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのお一人様利用は、ご旅行代金の20％となります。D1、D2は180％です。
- A1、A2、A3、A4、B、D1クラスは、洗浄機能付きトイレを完備しています。
- C1、G、L、Mクラスの1人申し込みでは、洗浄機能付きトイレのオプション申込が可能です（有料）。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのソファは、ソファベッドとしてもご利用いただけます。
- A1、A2、A3、A4クラスは船室指定が可能です（船室指定後に旅行契約を解除なる場合、船室指定取消料として旅行代金の5％を申し受けます。90日前以降は旅行条件記載の取消料に準じます）。
- お得な年齢割引もご利用ください！大人1名につき未就学児1名無料（詳しくは弊社までお問い合わせください）。
- 相部屋申し込みのお客様はシャワー、トイレ、ロッカー、その他の設備は相部屋と共用です。
- セミシングルタイプ、フレンドリータイプは、船室内をカーテンで区切り、プライベート空間を提供するコンパートメントタイプです。
- 旅行開始時13歳未満（中学生を除く）のお子様連れでの相部屋申し込みはお受けできません。
- フレンドリータイプの船室は、2段ベッドの下段指定が可能です（有料）。ベッド下のスペースは同室者との共用です。

ビザ（査証）取得について

- クルーズに必要なビザ（査証）は、弊社にて取得手続きの代行をいたします。（有料）
- 参加いただくオプションツアーによっては、ビザ取得のための追加代金や追加書類をご提出いただく場合があります。
- 本パンフレット記載のビザ取得代金は日本国籍の方の代金です。日本国籍以外の方もお気軽にお問い合わせください。
- 米国入国には、ESTA（米国電子渡航認証システム）の事前登録が義務付けられています。（有料：40.27米ドル）
- シェンゲン協定により、ご出発前のシェンゲン加盟国への旅行日数によって当クルーズにご参加いただける場合がございます。
- 2026年より欧州渡航情報認証制度（ETIAS）の導入が予定されています。

海外旅行保険への加入が必須です

ご旅行中に疫病や事故などの事象に遭遇し、思いもよらない高額な治療費用や救護者費用などが発生した場合、法律上これらの費用は全てお客様個人ののご負担となります。このような事態に備えるため、旅行期間のすべてがカバーされた海外旅行保険へ必ずご加入ください。海外旅行保険に加入されない場合、本旅行への参加をお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

旅行変更費用補償特約の同時加入をおすすめします

クルーズの取消料はご出発の90日前から発生しますので、ご自身はもとより、ご家族・ご親戚の病気・事故などでご旅行をキャンセルしなければならぬ場合に備えて「旅行変更費用補償特約」に加入することをおすすめします。

海外安全情報

外務省の治安に関する海外安全情報および下記の通り危険情報が発出されておりますが、現地手配会社、関係行所、船舶代理店などから最新情報を得て、当社が安全と確認しましたので本旅行をを行いました。

「レベル1」：十分注意してください

香港、コロンボ、サファガ、ポートサイド、オーチオリオス、コロン

「レベル2」：不要不急の渡航は止めてください

マンサニージョ

尚、現地の治安および感染症など海外の安全に関する情報は、お客様自身でも確認していただきますようお願いいたします。

旅行代金一覧（単位：円）

船室クラス	バルコニー/ 窓	フロア	ベア (2人部屋)	相部屋可	シングル (1人部屋)	セミシングル (2人相部屋)	フレンドリー (3～4人相部屋)					
オーナーズスイート	バルコニー付	9-10	A1	15,050,000	—	—	—					
ベントハウススイート		8	A2	11,400,000	—	—	—					
プレミアムスイート		9-10	A3	10,880,000	—	—	—					
スイート		8	A4	10,200,000	—	—	—					
ジュニアスイート		10	B	9,350,000	—	—	—					
バルコニーⅠ		10-12	C1	6,460,000	○	I	12,274,000					
バルコニーⅡ		9	C2	6,350,000	○	J	12,065,000					
アウトサイドワイド		9-11	D1	5,490,000	○	—	—					
アウトサイドビュー		8	D2	5,380,000	○	—	—					
アウトサイドⅠ		窓あり	8	E	5,150,000	○	K	9,270,000	E2	5,250,000	—	
アウトサイドⅡ	5-6	F	4,950,000	○	L	8,910,000	F2	5,050,000	G3	4名	3,960,000	
スタンダードインサイドⅠ	窓なし	8-11	G	3,890,000	○	M	7,002,000	G2	3,990,000	G4	3名	3,501,000
スタンダードインサイドⅡ		5-6	H	3,760,000	○	N	6,768,000	H2	3,860,000	H4	4名	3,008,000

※フレンドリータイプは、出航時75歳未満のお客様限りです

旅行条件(要旨) 一詳細は旅行条件書をお渡しいたしますので、内容をご確認のうえお申し込みくださいー

本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

1. 募集型企画旅行契約

本旅行はNGOピースボートがコーディネートし、株式会社ジャパングレイス（以下「当社」といいます）が企画・実施する旅行です。本旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます）を締結することになります。

2. 旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、申込金として旅行代金の5％にあたる金額（別紙参照）を添えてお申し込みください。当社が申込金の受領確認が出来た時点で正式なお申し込みとなります。

3. 旅行代金に含まれるもの

①旅行日程に明記した船舶の運賃 ②船内宿泊（ご請求書に記載された船室クラス）、船内イベント（一部有料あり）の代金 ③明示した食事回数の料金 ④船舶による手荷物運搬料金 ⑤添乗員の同行費

4. 旅行代金に含まれないもの（上記3項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示いたします。）

①オプションツアーの代金 ②船室クラス変更による追加代金 ③渡航手続費用（ビザ代・渡航手続代行手数料・予防接種料金等） ④船内のチップ ⑤ポートチャージ（港施設使用料等） ⑥国際観光旅客税 ⑦海外旅行保険料、電話代、飲み物代などの個人的費用 ⑧超過手荷物料金 ⑨ご自宅から発着地までの交通費・宿泊費・手荷物運搬費 ⑩船舶のフューエル（燃油）サーチャージ ⑪船舶に課せられるEU-ETS・FuelEU Maritime・GFI 等、環境規制対応費（環境対応サーチャージ） ⑫訪問する国や自治体等により課される環境保全税・観光税・オーバーツーリズム対策税

5. 旅行代金のお支払い

①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日目に当たる日以降の当社の定める日までに入申込金を除いた旅行代金及び諸費用等をお支払いください。②お申込金は使用客船の貸切代金の一部に使用いたします。

6. 特別補償

当社はお客様が企画旅行中に、急激かつ偶然な外来の事故により被られた一定の損害についてあらかじめ定める額の補償金および賠償金を支払います。フリートラベルの期間は、特別補償規程第2条2項に定める無事配りとなります。

7. 取消料

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。

	取消日	取消料
旅行開始日の前日から 起算してさかのぼって	91日前まで	無料
	90日前以降60日前まで	旅行代金の5%
	59日前以降29日前まで	旅行代金の50%
	28日前以降15日前まで	旅行代金の80%
	14日前以降	旅行代金の100%

本旅行の使用客船は貸切船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係る旅行代金の払い戻しはありません。

8. その他

①クルーズにご参加の場合は、海外旅行保険にご加入されることを必須といたします。②旅行条件に定めない事項は当社旅行業約款「募集型企画旅行契約の部」にあります。なお、当社約款は当社ウェブサイトよりご覧いただけます。

このパンフレット記載内容は2026年9月14日を基準としています。

別途諸費用（単位：円）

※2026年9月14日現在の金額です

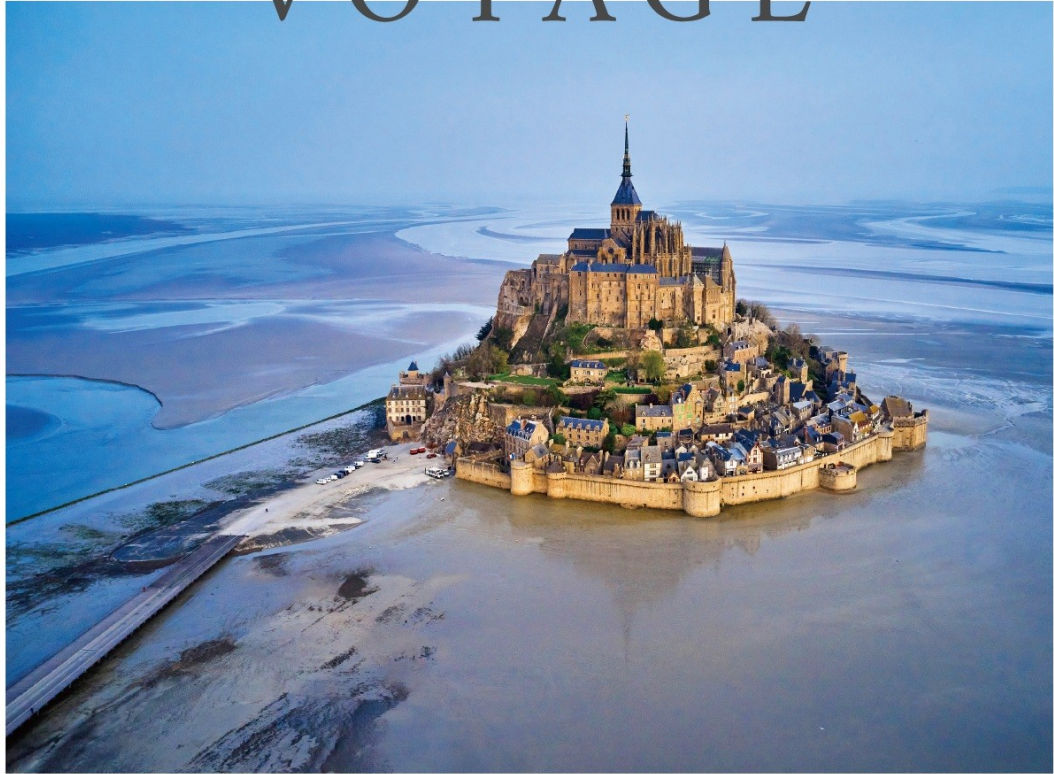
チップ合計	181,440
ポートチャージ合計	83,160
ビザ取得代金合計	19,000
国際観光旅客税	3,000
米国アラスカ州クルーズ税	5,320

- 最少催行人員：1,000名
- 船中泊
- 日本人添乗員が同行します
- 食事：朝106回、昼106回、夕106回
- 医師、看護師が乗船します
- 使用客船：パンフィック・ワールド号（総トン数：77,441トン/全長：261.3メートル/全幅：32.25メートル/喫水：8.1メートル/乗客定員：2,419名/運航会社：シーホークコーポレーションリミテッドインク）



EUROPE & ALASKA

PEACE BOAT VOYAGE



ときめくときに出会う、心が躍る ベストシーズンに、最多寄港地をめぐる旅

2030年4月出航 ヨーロッパ周遊&アラスカコース

横浜発着108日間 2030.4.19(金)～8.4(日)

Yokohama / Hong Kong / Singapore / Colombo / Safaga / Port Said / Santorini / Kusadasi / Piraeus / Catania / Valencia / Le Havre / Amsterdam /

Oslo / Stockholm / Helsinki / Tallinn / Gdansk / Copenhagen / New York / Ocho Rios / Colon / Manzanillo / San Francisco / Ketchikan / Seward

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス（観光庁長官登録旅行業 第617号）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13
www.japangrace.com

一般社団法人日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員

振込口座	三菱UFJ銀行	三井住友銀行	みずほ銀行
口座名義はいずれも (株)ジャパングレイス	高田馬場支店 普通 1211859	高田馬場支店 普通 9103064	高田馬場支店 普通 1991082

Coordinated by ピースボート 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7561 / FAX: 03-3363-7562 www.peaceboat.org

PHOTO: PEACEBOAT、内田龍、片岡和志、水本俊也、辻木忠義、吉田タイスケ、ソーワルグッド株式会社、Ari Beser, Georgi Tushiev, AdobeStock, Gettyimages, shutterstock.com



2030年までに日本のクルーズ人口100万人の達成に向けたキャンペーンに参加しています。



【プライバシーポリシー】
株式会社ジャパングレイスでは、お客様からご提供いただく個人情報の取り扱いについて、ウェブサイトにてご案内しております。
https://www.pbcruise.jp/privacy/

初夏のヨーロッパを 自由に旅する

— ヨーロッパ周遊 世界一周クルーズ —

ベストシーズンの初夏のヨーロッパをめぐる「地球一周の船旅 Voyage135」は、ピースボートクルーズ最多の全25寄港地、ヨーロッパでは地中海の各国から西ヨーロッパ、東欧のポーランドや北欧4カ国を含む13寄港地を贅沢に楽しむことができる船旅です。

ヨーロッパ各地の美しい風景や、一度は訪れてみたい世界遺産の数々に出会い、それぞれの土地を歩き、歴史や文化にふれるひとときをお楽しみください。「シェンゲン協定」の対象国間を出入国審査なしで移動できるため、船を一時下船して寄港地から離れた都市や観光地へ足を延ばすこともできます。また、オーバーランドツアーも多数ご用意しておりますので、本クルーズならではの自由でオリジナリティあふれる旅を体験いただけます。

さらに、世界一周クルーズで人気エリアも目白押しです。古代文明が息づくエジプトはサファガ・ポートサイドの2寄港地を訪問。雄大な自然と多様な文化が広がる米国では4寄港地をめぐる。また、壮大なノルウェーのソグネフィヨルドとアラスカフィヨルドを本船で遊覧します。

このクルーズだからこそ出会える景色や文化、人びととのふれあいをぜひ船上でお楽しみください。皆さまのご乗船を、心よりお待ちしております。

オーバーランドツアー：空路や陸路を使って通常の寄港地からは遠い場所を訪れ、次の寄港地で再び合流する、ピースボートクルーズがご案内するツアーです。



光に魅せられるパリ。セーヌ川沿いを散歩。

PEACE BOAT VOYAGE 135

COVER PHOTO



- 1 世界遺産モン・サン・ミッシェル（フランス）
- 2 アムステルダムでのひととき（オランダ）
- 3 青と白が彩るサントリーニ島（ギリシャ）
- 4 琥珀が輝くグダンスクの店先（ポーランド）
- 5 緑豊かな夏のストックホルム（スウェーデン）



本パンフレット掲載の写真は、お客様にピースボートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去のクルーズで撮影した写真も含んでおります。また、全て旅のイメージです。

01 EUROPE P4-13 欧州周遊

02 EGYPT P14-16 美しきエジプト

03 VOYAGE TALK P17 アーヤ藍（映画探検家） 岡根谷実里（世界の台所探検家）

04 USA P18-19 アラスカ、ニューヨーク、サンフランシスコ

05 PANAMA P20-21 駐日パナマ大使 特別インタビュー

06 DESTINATIONS & PORTS P22-23 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

欧州 周遊

心ときめく、ヨーロッパ

EUROPE

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★



サントリーニ島（ギリシャ）



クダンスク（デンマーク）



オスロ（ノルウェー）



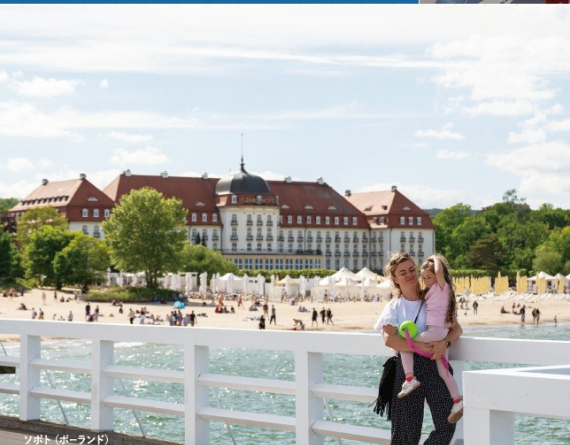
ヘルシンキ（フィンランド）



タリン（エストニア）



パリ（フランス）



ワルシャワ（ポーランド）



ストックホルム（スウェーデン）



アムステルダム（オランダ）

A Journey Through Europe, Your Way

思いのままにめぐる欧州の旅

寄港地から鉄道やバスに乗って、あなただけの旅へ。国境を越えて自由に移動できるヨーロッパだからこそ、船を離れて新たな街を訪ねる冒険を楽しめます。その土地ならではの風景や文化との出会いが、旅をさらに豊かなものにしてくれます。

歴史と絶景に彩られた地中海、芸術と美しい街に出会う西ヨーロッパ、中世の歴史が息づく東欧、そして雄大な自然が広がる北欧。ギリシャからデンマークまで、多彩なヨーロッパの魅力にふれてみませんか。

下記のマークが付いた場所は「オーバーランドツアー」か「一時下船（フリートラベル）」でご訪問いただけます

OVERLAND

オーバーランドツアー

空路や陸路を使って通常の寄港地からは遠い場所を訪れ、次の寄港地で再び合流する、ピースボートクルーズがご案内するツアーです。

FREE TRAVEL

一時下船（フリートラベル）

ご自身で予算・行き先を決め、移動ルートや宿泊などを手配し、思い思いにカスタマイズして“自分だけの旅”をお楽しみください。

地中海 Mediterranean



燦々と降り注ぐ太陽と鮮やかな青い海が眩しい地中海では、太古の噴火が残した白亜の断崖から水路が育んだ情熱の食文化まで、荒涼とした自然と人の知恵が交錯する地中海の歴史が浮かび上がります。

東欧 Eastern Europe



中世の美しい風景が残る古都や琥珀貿易で栄えたポーランド。石畳の路地に今も残る職人街や幾多の時代を乗り越えてきた伝統の味が、戦禍を越えて受け継がれた人びとのたくましい日常を物語ります。

西ヨーロッパ Western Europe



大河を渡る爽やかな風や網の目状の運河に揺れる街並み。印象派を魅了したりんごの薫る小さな田園から厚重な油彩が眠る館まで、水辺の光と色彩が織りなす絵画のような景観をどこまでも深く辿ります。

北欧 Nordic

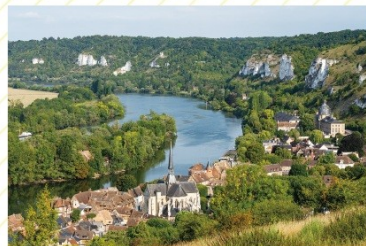


フィヨルドの断崖や美しい自然、そしてモダンな都市景観へと変化する北欧。厳しい冬を越える知恵から生まれた木造建築やサステナブルな食卓には、自然と共生する合理的な美意識が見え隠れします。



セーヌが導くノルマンディーの風と、 歴史を映す美しき建築物

セーヌ川の河口に位置する港町ル・アーブル。ここから川を遡れば、水辺に佇むルーアンの街や、断崖に建つガイヤール城など、美しきノルマンディーの風景が広がります。また、孤高の修道院モン・サン・ミッシェルでは、中世から受け継がれてきた悠久の時間が織りなす幻想的な世界が待っています。歴史と風景に彩られた、ノルマンディーの奥深い魅力にふれてみませんか。



中世の面影が残る街

14世紀から傾いたままとされる木造家屋が並ぶルーアンの旧市街。ジャンヌ・ダルクの史実が残る街で、陽の傾きで表情を変える大聖堂を見上げ、モネと同じように刻々と移ろう光を追いかけます。



りんごが実る黄金の風土

豊かな土壌が育むノルマンディーは、フランスを代表するりんごの名産地です。名物の発泡酒シードルや熟成されたブランデー「カルヴァドス」など、爽やかな果実の旨味に出逢えます。



記憶を伝える海岸線

第二次世界大戦の命運を分けたノルマンディー上陸作戦。その舞台となった静寂の砂浜と断崖は、2026年に新たに世界遺産へ登録され、過酷な記憶を留めながら私たちへ平和の尊さを訴えかけます。



水辺に映える美しき運河と、 幾多の名画が彩る芸術の都

築堤と運河で水を制し、豊かな市民社会を築いたオランダ。かつて西欧で絶対王政が支配的だった時代、オランダは商人や市民を中心とした自由で多様性を尊ぶ独自路線を歩みました。貿易の繁栄と寛容な社会が育んだ気風は、やがて世界を魅了する絵画や革新的な芸術を開花させます。水辺の景色に息づく、豊かな歴史と自由の精神を辿る旅へ出かけます。



アムステルダム国立美術館

オランダ芸術の歴史を象徴する美術館。レンブラントの最高傑作『夜警』をはじめ、フェルメールの『牛乳を注ぐ女』など黄金時代を彩る巨匠たちの名画が並び、当時の豊かな市民文化の美意識を今に継承します。



情熱の画家 ゴッホ美術館

世界最大級のゴッホコレクションを誇る美術館。『ひまわり』や自画像をはじめ、短くも劇的な画業の変遷を辿ります。彼が残した言葉や手紙とともに、キャンバスに注がれた深い情熱にふれる空間です。



アンネ・フランクの家

少女アンネ・フランクが家族と潜伏生活を送った隠れ家。日記が綴られた薄暗い部屋は今も当時の姿をとどめています。現在は博物館として公開され、世界中から訪れる人に平和の尊さを伝えています。



広がる、西ヨーロッパの旅！

① ② 街の象徴であるブランデンブルク門と、かつて街を隔てたベルリンの壁。ここに残る歴史の記憶です（ドイツ） ③ ④ ブリュッセルはEUの主要機関が集まる国際都市で、歴史的な建築が彩る街並みも魅力です（ベルギー） ⑤ ⑥ ⑦ 水辺の風景、街角のアート。そしてカフェで過ごす、バリの穏やかなひととき（フランス）

サントリーニ島



エーゲ海に浮かぶ絶景の島

青い屋根と白い壁が広がる崖の景色は、かつて人類史上最大級の火山噴火によって島の中央が海へ没したことで生まれました。紀元前1600年、たった一夜で海底へ消えたとされる哲学者プラトンの「アトランティス伝説」。断崖の美しき街並みの下に眠る、太古のロマンと秘められた物語に迫ります。



地中に眠る太古の都市

火山灰の下から姿を現したアクロティリ遺跡は、高度な文明を誇った古代都市として消えたアトランティス伝説の面影を今に留めます。



絵本が開く古代の物語

街の本屋にはこの地の古代文明や幻の伝説を描いた絵本が並び、ここでしか手に入らないお土産として訪れる人の手に取られています。



風土が育む白ワイン

火山性の土壌と潮風が育む名産のワイン。崖の上の絶景とともに味わう一杯は格別で、固有品種が持つ爽やかな酸味が口中に広がります。



エーゲが彩る地中海料理

タコのグリルやムサカなどエーゲ海の恵みが揃うサントリーニの地中海料理は、香ばしいハーブと鮮やかな素材の旨味を堪能できます。



グダンスク

「黄金の門」を抜けると、そこはルネサンスの美と歴史が彩る黄金の港街

バルト海に佇む古港、グダンスク。街のシンボル「黄金の門」をくぐると、ルネサンスの気品に満ちた石畳と絢爛豪華な街並みが広がり、かつての繁栄を今に伝えます。古くから琥珀の交易地として輝く一方、第二次世界大戦の戦端が開かれ、後に冷戦終結へと向かう歴史の転換点でもありました。美しい景観の奥に息づく、悠久の歴史を辿ります。



バルト海の貴婦人 ソポト

白砂の海岸が美しい、バルト海屈指のリゾート。海洋気候や温泉の効能に着目したナポレオン軍の元軍医が浴場施設を建設したことから保養地として発展しました。ヨーロッパ最長の木造栈橋であるソポト栈橋も見どころです。



太古の時を宿す琥珀

グダンスクは琥珀産出量の約90%を占めるとされる、世界最大の産地。数千万年の時を経て輝く琥珀は、古代ローマ時代から地中海世界へと運ばれ、交易路は「アンバーロード（琥珀の道）」とよばれました。



名店で味わうピエログ

皮から手づくりする様子が見られるピエログの名店「Mandu」。茹でたての皮を破ると炒めた玉ねぎと肉汁があふれ、カリカリに炒めたベーコンや冷たいサワークリームを添えて味わうのが東欧流です。

歴史と情熱が薫る街

地中海に面したスペイン第3の都市、バレンシア。かつてアラブ人がもたらした水路技術は乾いた土地を潤し、キリスト教徒による再征服ののち、絹貿易で栄えた15世紀の黄金期へと街を導きました。大地の恵みが育んだバエリアや伝統飲料のオルチャータなど、温暖な気候が織りなす豊かな食文化と知的な情熱にふれる旅へと出かけます。



スペイン

バレンシア



千年の歴史を継ぐ水の裁判

バレンシア大聖堂の門前に立つ裁判所では、アラブ時代から千年以上続く「水法廷」が今でも毎週木曜日に開催されています。



ラ・ロンハ・デ・ラ・セダ（絹取引所跡）

絹貿易の拠点として繁栄した黄金期の象徴であり、美しいヤシの木のような柱が並び世界遺産の空間が中世の面影を今に伝えます。



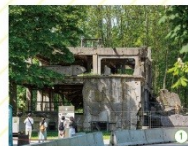
発祥の地で味わうバエリア

水路が開いた広大な水田から生まれたバエリアは、農民の知恵と大地の恵みが凝縮されたバレンシアを代表する伝統料理です。



伝統飲料 オルチャータ

アラブ時代から伝わるタイガーナツの清涼飲料・オルチャータ。優しい甘みと香ばしい風味が、今でも人びとの喉を潤しています。



大戦の発端から冷戦終結の舞台へ

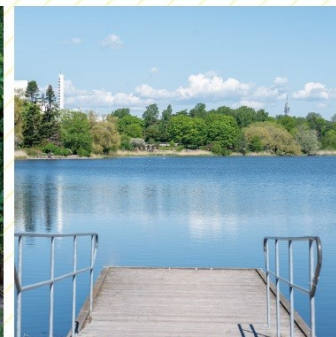
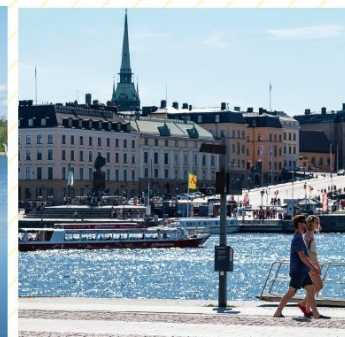
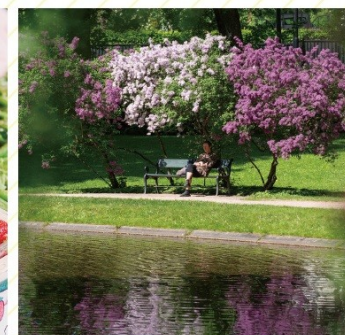
①②③ヴェステルプラッテ 旧ドイツ軍の奇襲を受けた要塞跡地。最初期の激戦の記憶を現在に伝えます。
④連帯博物館 労働組合「連帯」の歴史を展示する施設です。

北欧の夏

Nordic Summer

ソグネフィヨルド

ノルウェー最大のフィヨルドをめぐるダイナミックな船旅。7万トン超の巨大なパンフィック・ワールド号でさえ小さく見えるほど、圧倒的なスケールの大自然を全身で味わえます。



この季節ならではの北欧の魅力を凝縮した、別冊『BEYOND THE JOURNEY—フリートラベルガイド北欧編—』も、併せてお楽しみください

「最も美しい航路」のひとつとして、世界一周クルーズのなかでも人気の高い北欧・バルト海の航海。なかでも長い冬を越えた北欧の夏は、白夜の柔らかな白い光、深く青い湖や緑豊かな森、夕暮れの淡いオレンジやピンクなど、清々しい色彩に満ちあふれています。あなたが思い描く北欧は、どんな色ですか—？

1	2	3
4	5	6
7	8	

- 1 アクセル・ランドクヴィスト公園のアイスクリームショップ (ストックホルム)
- 2 空に美しく映える、トーロ湾の透き通るような青 (ヘルシンキ)
- 3 美しい街並みが広がる水の都 (ストックホルム)
- 4 水辺を吹き抜ける心地よい夏の風 (ストックホルム)
- 5 夏の風物詩、マーケットに並ぶ新鮮なエンドウ豆とイチゴ (ヘルシンキ)
- 6 夏季限定で一般公開される緑豊かな「女王の庭」 (オスロ)
- 7 夏の訪れを告げるエルダーフラワーの甘く爽やかな香り (オスロ)
- 8 港のそばに佇むノーベル平和センター (オスロ)

写真は全てイメージです



Live Again, Like Snufkin

スナフキンのように生きる。
北欧の夏だからこそ可能な自分の人生の再考

ピースポートクルーズでの旅がさらに充実したものになるように―。これから訪れる国や地域での体験をより豊かなものへと導いてくれる、「水先案内人」とよばれる専門家がジャーナリスト、各界の著名人が乗船しています。北欧の豊かさの秘訣と、初夏がベストシーズンといわれる所以について、オスロ在住のジャーナリストであり水先案内人を務める鑑 麻樹(あぶみ あさき)さんが語ります。



「あ、またリアル・スナフキンがいる」。北欧の都市には川や海などの水場が多いため、ひっそりと釣りをしている男性たちをやけに見かけます。ムーミンの物語に登場する、自由な時間をひとりて楽しむクールなスナフキン。私は心の中で彼らを「リアル・スナフキン」とよんでいるのですが、皆さんも道中で遭遇するかもしれません。

オーロラなどで冬のイメージが強い北欧ですが、夏は素敵な魔法があらこちで発生する時期だと私は思っています。人が行き交う都市の中心部から、徒歩10分圏内で、目の前に壮大なフィヨルドが広がる。そこでサウナに入り、海水でぶかぶかと浮かぶ。路面電車で30分ほど車窓の風景を眺めていると、森や湖のある空間にいつの間にか瞬間移動している。日本の都市生活ではまず難しいライフスタイルを、オスロでさっと実現することができます。北欧諸国といえば、幸福度の高さをはじめとして、さまざまな世界ランキングで上位常連国であることが有名です。その秘密のひとつが、「自然にすぐにアクセスできる」日常です。では、生活圏内で自然を北欧レベルで維持するにはどうすればいいのでしょうか。日常的に政治の会話に参加し、自治体選挙などでそういうことを大事だと思っている政党や候補者に投票することも必要です。このように、船上から降りて、北欧の地をめぐっていると、いくつもの幸福のヒントを探し出すことができます。

皆さんが降り立つ6月はまさに夏の始まりの時期でもあります。日本では8・9月が暑い夏かもしれませんが、北欧では6・7月が最高に心地よい夏の風を浴びることができる頃合いです。「寒い・暗い・長い」の三拍子を奏でる冬の後に訪れる夏は、喜びと幸福度が高まる時期なのです。最近では、私も窓からの日差しに「ありがたや」と感謝するようになりました(!) 北欧の人たちは心の中で「太陽信仰」をしていると私は思っています。暗い時期が1年の大半を占めるからこそ、晴れの日は外に出て、日光を浴び、「ゆったりと過ごさなければ、人生の損」というのもいいほどの強い思いがあるようです。ベンチ、公園、海沿い、カフェのテラスで、肌を出して流れる時間に身を任せる「スナフキンみたいな人」を、きょうどこかで目にするでしょう。必死に日光浴をしているのには理由があります。「ビタミンDの摂取」です。日光を肌に直接浴びるとビタミンDが合成され、冬に不足すると気持が落ち込みやすくなるため、魚のオイルを飲んで対策するというのが北欧の常識。私はこれをオスロ大学のノルウェー語の授業で学び、きょうとしたものです。夏に現地の人びとが外でゆとりと時間を過ごしているシーンは、北欧社会のさまざまな事情を物語っています。

悠々とした時間を過ごすという意味では、皆さんも船上でまさにその時間を体験できますね。働き過ぎとも国際的に知られている日本の

国境を越えて、静かな時間を長く過ごすことは容易ではありません。「なにかしたくなる」「落ち着かない」感覚の波が、何度もあなたのドアをノックしてきます。ですが、このような北欧の夏らしい時間は、「自分」を取り戻すきっかけにもなります。また船上ではネットの使用量も限られるため、スマホやSNSから離れた時間が生まれます。代わりに、きっと船内で誰かと小さな対話をすることになるでしょう。デジタルなコミュニケーションが増え、断片が課題となった現代において、このような時間や交流ができる空間は「現代のラグジュアリー(贅沢な体験)」だと思っています。

幸福度の高さでいえば、良質なデザインに囲まれた人生を送ることも関係しています。北欧には「美しいデザインは住民のウェルビーイングを向上させる」と理解している政治家や教育者が驚くほどに多いと、これまで取材を通じて感じてきました。コペンハーゲンの建築や暮らしを彩るデザイン、ヘルシンキで見かける日常用品の造形の美しさ。「北欧デザイン」という言葉が国際的に浸透しているのには理由があるのです。私は旅先ではローカルなデザインのポストカードを探し、居心地のいいカフェで美味しいコーヒーを飲みながらメッセージを手書きし、現地の郵便局で切手を購入し、日本にいる誰か大切な人に投函するという一連の時間の流れを旅の儀式にしています。

夏には延々と明るいまの夜にも驚かれることでしょう。このようにこのタイミングだからこそ可能な特別な瞬間というものがあります。あの湿気の少ない心地よい風を、ぜひ皆さんにも感じてもらいたいです。スウェーデンではコーヒーや甘いお菓子を楽しむ時間を「フィカ」といいます。現地でフィカしながら、北欧の人の夏の感覚をリアルに体現しにしてみてください。

Profile

鑑 麻樹 Asaki Abumi

北欧ジャーナリスト
北欧・日本プロジェクトコンサルタント



オスロに2008年から在住。ノルウェー、フィンランド、デンマーク、スウェーデン、アイスランドに関する情報を発信中。上智大学フランス語学専攻、オスロ大学大学院メディア学修士課程修了(副専攻: ジェンダー平等学)。2022年、同大学院サマースクール「北欧のジェンダー平等」修了。ノルウェー国際報道協会会員。多言語学習者(9か国語)。ノルウェー政府の産業推進機関「イノベーション・ノルウェー」より活動実績を表彰される。著書に『北欧の幸せな社会のつくり方: 10代からの政治と選挙』『ハイヒールを履かない女たち: 北欧・ジェンダー平等社会のつくり方』(かもがわ出版)がある。



sauna

オスロ中央駅のすぐ東側に広がる近代的な水辺エリアにある、鑑さんおすすめのスナウナ。温まった後、そのままオスロフィヨルドの冷たい海に飛び込める最高のロケーションです。



cafe

ヘルシンキに来ると鑑さんが必ず立ち寄るお気に入りのカフェ「El Fant Cafe & Bar」。北欧で話題の「発酵」をテーマに、タヒニ(生ごまペースト)と味噌を組み合わせた斬新なシナモンロールが人気。



relax

ムンク美術館やオペラハウス、ノーベル平和センターなど、オスロの観光名所は数多い。しかし、こんなふうにフィヨルドとやわらかな太陽の光に包まれている時間こそ、一番豊かなのかもしれません。

EGYPT

美 し き エ ジ プ ト

〈サファガ・ポートサイド〉

豊かな水をたたえて流れるナイルの恵みによって、数千年にも及ぶ繁栄を極めたエジプト文明。その信仰の中心をなしたのが、すべての神々の頂点に立つ「太陽神ラー」でした。ナイル川を挟んだ東西の地に造られた神殿や墳墓の数々は、まさにラーの神話が地上に投影された巨大な舞台装置ともいえます。紅海沿いのサファガから、エジプト文明の中心地・ルクソールへ。そして、スエズ運河の地中海側の拠点であるポートサイドから、ピラミッドやスフィンクスが待つ首都カイロへ。エジプトでの2寄港地訪問は、古代と現代が交差するタイムトラベルのような感動をもたらしてくれるでしょう。



Ra

THE SUN GOD

太陽神ラーの旅

王家の谷に眠るラムセス4世の墓(KV2)は、「太陽神ラーの夜の旅」と「西(死の領域)」の概念がそのままビジュアル化された、まさに集大成と言える空間です。壁面を埋め尽くすように刻まれたヒエログリフは、王の魂が異界の悪霊に邪魔されることなく、翌朝また東から「再生」するための復活の呪文でした。紀元前12世紀の誕生から3000年以上の時を超え、今日もナイル川では太陽が沈み、東から昇る「永遠の旅」が繰り返されています。



1	2
3	4

- 1 古代エジプトで最も美しく独創的な建造物として知られる「ハトシェプスト女王葬祭殿」。
- 2 「王の名前」を刻むカルトゥーシュは、古代エジプトを象徴するデザインのひとつ。楕円形の枠で囲むことで、その名を守る意味が込められていました。現在もお守りの意味を込めたアクセサリーがつけられ、お土産として親しまれています。
- 3 ルクソール博物館の至宝「ソベク神とアメンホテプ3世の二連像」。古代エジプトの彫刻において、両腕を体側に添え、左足を一歩前に踏み出している立像は「生者(現世を生きる王や高官)」の姿を表しています。
- 4 古代エジプトの遺物を約10万点収蔵し、時代ごとに分けられた常設の展示ギャラリーが並ぶ大エジプト博物館。2025年11月にグランドオープンし、すでにエジプト観光の目玉になっています。

VOYAGE TALK

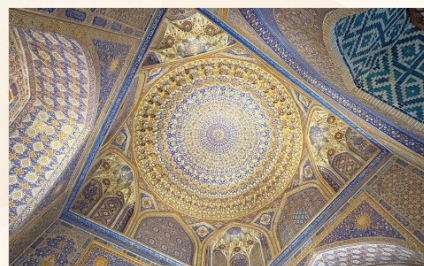
—— 旅人が綴る風景 ——

アーヤ藍
Ai Ayah



映画探検家

意思疎通だけではない言葉の力



大学時代に私はアラビア語を学びました。イスラーム圏が当時の私には最も「遠い」存在で、まずは知りたいと思ったからです。今は簡単な自己紹介程度しかできません。それでもニューヨークのアラブ料理の屋台やブリュッセルのシリア料理店で、アラビア語で挨拶をした時、相手の顔に笑顔が広がったことが何度もあります。反対に、日本料理店もほぼ無いジョージアで、コンビニの店員さんから日本語で挨拶と自己紹介をされた時には、驚いたとともに嬉しさが込みあげました。言葉は意思疎通の手段であるだけでなく、「あなたの国や文化に関心があります」という敬意を伝えるものでもあると旅をしていて感じます。

同時に、言葉学ぶことで気づける文化や価値観もあります。ジョージア語では「こんにちは」も「乾杯」も「勝利」を意味する言葉に由来し、大国の狭間で自国を守り抜いてきた歴史が垣間見えます。マーシャル語の「こんにちは」は「あなたは虹」を意味し、口にするたび、心にマーシャルの青い海と空が思い浮かびます。アラビア語には、過去も未来も自分だけの力では成り立たないという謙虚な世界観を感じる言葉があります。私はその視点が好きで、日本にいても時折心の中でつぶやきます。また、アラビア文字を読むことで、トルコやスペイン南部で、イスラーム建築の文字による装飾技巧に人一倍感動できたとも感じています。

私自身、旅で一番使うのは英語とボディランゲージですし、翻訳アプリに頼ることもあります。それでも、旅先の言葉をわずかも学ぶことで生まれる「出合い」の喜びをこれからも大事にし続けたいと思っています。



Profile

1990年生まれ、長野県育ち。慶應義塾大学総合政策学部卒業。在学中にアラビア語の研修で訪れたシリアが帰国直後に内戦状態になり、シリアのために何かしたいという思いから、社会問題をテーマにした映画配給宣伝を行うユナイテッドビープル株式会社に入社。同社取締役副社長を務める。2018年に独立。「映画探検家」として、映画の配給・宣伝サポート、映画イベントの企画運営、雑誌・ウェブでのコラム執筆を行う。編著書に『世界を配給する人びと』。

岡根谷実里
Misato Okaneya



世界の台所探検家

ファラオのモロヘイヤ、現代のマカロニ



エジプトといえばピラミッド。アフリカ大陸に位置する古代文明の地で、心理的に遠い国に感じていました。だから行くことと決めた時は胸が躍りました。家庭料理を訪ねる身として、古代から食べ続けられている食物があるのかも気になっていたのです。

訪れたのは真夏の8月、ナイル川上流の村。気温は40度を超え、日中は外出をためらうほど。滞在先の家で毎日のようにつくられていたのが「モロヘイヤのスープ」でした。モロヘイヤは近年日本でも普及してきた葉野菜ですが、この辺りが原産とされ、名前もアラビア語由来。葉を刻み、炒め玉ねぎと水、塩、スパイスで煮ると粘りが出て、とろみのあるスープになります。これを平焼きパンですくって食べると、体の熱がずっと引くようでした。

「身体にいいから」という家の人の言葉を裏付けるかのように、モロヘイヤには多くの伝説があります。「王様の野菜」を意味するとか、ファラオが好んだとか。真偽は不明ですが、文化的に重要な食材であることは間違いありません。

そんな歴史ある野菜がありつつ、一方で目を引くのがマカロニの存在感。代表料理のコシャリ(米・豆・マカロニをあわせたファストフードの一品)やマカロナ・ベシャメル(ペネのラザニア風)など、独自進化を遂げています。エジプトは古代バスタ起源の地とされますが、マカロニなどの現代パスタは19世紀にヨーロッパから入ったものです。

エジプトの食は「古代からのもの」だけでなく、多層的です。旅先ではぜひ、「知らない食べ物」だけでなく「慣れた食材の見慣れぬ使われ方」にも目を向けると、発見があるかもしれません。



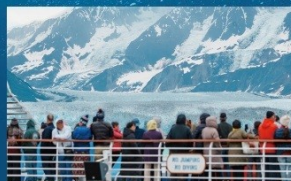
Profile

東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、クックパッド株式会社に勤務し、独立。世界各地の家庭の台所を訪れて一緒に料理をし、料理を通して見える暮らしや社会の様子を発信している。40以上の国と地域、190以上の家庭を訪問。講演・執筆・研究などを行う。著書に『世界の食卓から社会が見える』(大和書房)、『世界のお弁当とごはん』(三オプックス)、『世界の台所の間取り』(エクスナレッジ)など。京都芸術大学客員講師。探検の傍ら、現在はオランダの大学で文化人類学の研究を行う。

Beautiful ALASKA

アラスカの大自然がもたらす、かけがえのない旅

深い森に抱かれた雄大なフィヨルド、ダイナミックな流水、そして悠久の時をかけて生まれた巨大な氷河。地球が育んできた壮大な自然が広がるアラスカを、船でめぐります。青と白が織りなす美しい風景を船上から望みながら、その圧倒的なスケールを全身で感じるひととき。寄港地では、豊かな自然やその土地ならではの味覚にも出会えます。雄大な大自然に抱かれ、日常を離れて過ごす特別な時間。心に深く刻まれる、アラスカの旅へ。



壮大なフィヨルドをゆく

船は時間をかけて、壮大なフィヨルドの中を進みます。ここでしか出会えない雄大な景観が次々と目の前に。デッキで澄んだ空気を感しながら、刻々と表情を変える大自然の風景をお楽しみください。



船室から望む絶景

船室のバルコニーから望む景色は、デッキとはまた違う味があります。自分だけの空間で、移りゆく大自然をゆっくりと眺めるひとときは、時間を忘れて絶景に浸る、贅沢な船旅の楽しみ方です。



アラスカの旅を彩る時間

アラスカ遊覧のひとつを彩る、特別講座やイベントを船内で開催します。大自然の魅力にふれる学びの時間から、オリジナルカクテル片手に楽しむ華やかなひとときまで、旅の時間を豊かに彩ります。

NEW YORK

ニューヨーク

世界の最先端と多彩な文化が交差する、刺激と発見の舞台

あらゆる分野で世界の最先端をゆく大都市、ニューヨーク。日々、新たな文化やトレンドが生まれ、街そのものが変化し続けています。多様な食文化やエンターテインメントなど、歩くだけで心躍る出会いが待っています。誰もが一度は目にしたことのある映画やドラマの舞台となった建物やスポットも数多く、街のいたるところに物語が息づいています。



多様な価値観にふれ、世界と未来を考える時間

ピースポートは国連本部の向かいにニューヨーク事務所を構え、国連機関などと連携して、環境やSDGsなどに関する活動・プログラムを行っています。ニューヨーク寄港時には、船上で国連関連のイベントや会議も開催。世界で活躍する人びととの対話や交流を通じて、多様な価値観にふれ、これからの世界を自分自身の視点で見つめる特別な時間が生まれます。



SAN FRANCISCO

サンフランシスコ

青い海と坂道が彩る、美しい街並み

青い空と海に映える美しい景観、風光明媚な街並みと穏やかな気候。アメリカ西海岸を代表するサンフランシスコには、起伏に富んだ坂道に色鮮やかな建物が並び、街のシンボルであるゴールデン・ゲート・ブリッジや、海辺に広がるフィッシャーマンズ・ワーフなど、心惹かれる風景が広がっています。ケーブルカーが行き交う街角を歩けば、この地ならではの景観を随所で感じられます。



思いのままに楽しむ、食とショッピング

さまざまな文化が交差するサンフランシスコでは、新鮮なシーフードを味わえるレストランをはじめ、おしゃれなカフェが街のあちこちに並んでいます。ショッピングでは、エリアごとに異なる雰囲気気のショップやマーケットをめぐる楽しさ。街を歩くと新しい発見があり、食や買い物を通して、この街の自由で開放的な文化にふれることができます。



A Future in Harmony with Nature

PANAMA

駐日パナマ大使 特別インタビュー

太平洋と大西洋、北アメリカと南アメリカを十字に繋ぐ「世界の交差点」パナマ。

世界一周クルーズにおける最大のハイライトのひとつでもあるこの国は、世界有数の環境先進国でもあります。

ワルテル・コーエン・ウリベ駐日パナマ大使に伺いました。

環境先進国パナマ

パナマは、CO2吸収量が排出量を上回る、世界でも数少ない「カーボンネガティブ」を達成した国です。国土は小さいものの生物多様性に富んでおり、陸域および海域の約30%が国立公園、生物保護区として保護されています。なかでも、サン・ブラス先住民地区（コマルカ・サン・ブラス）では、先住民族の人びとがパナマ運河の建設される遥か前からこの地を守り継ぎ、自然と深く結びついた豊かな文化を育んできました。その伝統や知識、価値観は、今日のパナマ社会に大きく根付いており、カーボンネガティブの実現に非常に重要な役割を果たしています。ピースボートクルーズの皆さまには、パナマ最大の“宝”のひとつである、自然と人の深い関わりを体感していただければ幸いです。

パナマ運河がもたらすもの

我が国の代名詞でもあるパナマ運河は、単なる工学的な成果を超えて、100年以上にわたり世界の貿易と国際協力の重要な大動脈となってきました。あらゆるものがパナマ運河を旅し、何十億人の生活を静かに支えています。もしパナマ運河がなければ、大西洋から

太平洋へと向かう船は、大量のガスや燃料を消費しながら輸送時間と距離を大幅にかけることになります。運河周辺の森林は二酸化炭素を吸収し、淡水資源を守り、世界で最も重要な航路の運用を支える水循環を維持するために不可欠な役割を果たしています。パナマにとって、自然を守ることは単なる環境の保護ではなく、私たちのアイデンティティや経済、そして未来に結びついた国家的責務。自然を守ることは商業を支えることそのものなのです。

自然と都市のバランス

皆さまはピースボートクルーズの旅を通じて、世界各地で多くの自然と出会うことでしょう。しかし、パナマほど簡単に自然にアクセスできる場所はそうないと思います。街中にも公園や保護区のような小さなジャングルがあり、そびえ立つ高層ビルからわずか10分の場所にあらゆる自然がある——国のすべてが熱帯雨林の中にあるのです。ほんの少しの移動で、近代的な国際都市、コロニアル建築、先住民族のコミュニティ、熱帯雨林などを体験できる。この多様な景観のコントラストがパナマの独自性であり、最も魅力的な側面のひとつといえるでしょう。

多様性が息づく国

19世紀の鉄道建設やその後のパナマ運河の建設など、さまざまな歴史的影響を受け、今も世界中から船や人びとが集まる「世界の十字路口」であり続けるパナマ。例えば、私の母方の祖父はコロンビア出身で、その父はスペイン出身。父方では、祖母はシリア出身のユダヤ人で、祖父はエジプト出身というように、非常に多様な民族構成が特徴です。そして、多くの異なるコミュニティの存在もまた、国家としての私たちの強みでもあります。先祖代々の知識と伝統を守り続けてきた先住民族の人びと、文化や芸術、国土の開発に多大なる貢献をしてきたアフリカ系コミュニティ、経済や社会のあり方を豊かにしてきたカリブ海やヨーロッパ、中国、インド系コミュニティの人びと。これらの多様な影響が一体となって、今のオープンで活気に満ちたパナマがあると私は考えています。

歴史と文化を感じて

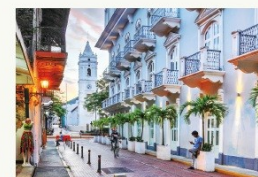
最後に私が愛するパナマの、おすすめスポットをご紹介します。世界遺産の「カスコ・アンティグオ歴史地区」では、パナマの多

文化社会の礎となった植民地時代の文化が垣間見られます。同じく世界遺産で植民地時代の要塞群「ボルトベロとサン・ロレンソ」では、海賊たちから街を守った強固な要塞や、豊かなアフロ・カリブ文化を体感できるでしょう。皆さまも通航するパナマ運河にまつわるスポットでは、運河の拡張工事に伴い開通したアグア・クララ閘門のビジターセンターや、多くの野生動物が生息するガトゥン湖も、ぜひ訪れてみてほしいです。そして、エンペラ族やクナ族などの先住民族の人びとのコミュニティでは、彼らの先祖伝来の伝統文化を体験し、パナマの多様な歴史を感じていただきたいです。

社会がますますつながりを深めながらも、時として誤解により分断される現代において、文化を超えて関わりを保つピースボートクルーズのような存在は、かつてないほど重要になっています。パナマを訪れた皆さまが、人びとや文化、アイデアをつなぐ、パナマ運河のような「架け橋」となってパナマをあとにすることを、心から願っています。



太平洋と大西洋を結ぶ、パナマ運河



歴史が息づくカスコ・アンティグオ



サン・ロレンソの要塞



パナマ出身の船長と語る大使



多様な生きものが生息する熱帯雨林

PANAMA × PEACEBOAT

パナマとピースボート



ワールドオーシャンズデー

船上で開催されたワールドオーシャンズデーには、エンペラ族の方々をご招待しました。族長は「私たちが単なるショーとして扱うのではなく、私たちの文化や先住民族としての権利を尊重して迎えてくれるからこそ、毎年ピースボートの訪問を楽しみにしている」と語ってくれました。



SDGs コース

「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年（2021～2030年）」を推進するものとして、ユネスコIOC（政府間海洋科学委員会）の承認を受けています。13名の若手リーダーが海洋保全、気候変動対策、持続可能性について学ぶ独自の体験型学習プラットフォームを提供し、中南米地域における気候変動の影響と海洋環境の保全について重点的に学びました。



ワルテル・コーエン・ウリベ
Walter COHEN Uribe

駐日パナマ大使

2024年10月、駐日パナマ大使として着任。民間企業における経済・ビジネス分野での豊富な経験を持ち、着任後は文化交流や人的往來の促進、両国の経済連携強化に注力。特にパナマ運河をはじめとする戦略的分野での協力拡大や、次世代を担う若者への教育交流の推進に取り組んでいる。



「世界のいま」を感じる 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧



香港
多彩な表情を魅せる香港で楽しみたい。歴史と人びとの暮らしが紡いだ本場の飲茶



シンガポール
“街の顔”と出会い、歴史や豊かな食文化を堪能する一触感のシンガポール旅



**スリランカ
コロンボ**
南国らしい熱気とエキゾチックな雰囲気だ。インド洋の交易都市・コロンボ



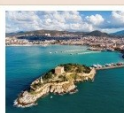
**エジプト
サファガ**
古代エジプトの栄華を雄弁に物語る古都ルクソールへ。美しい紅海で感じる悠長の歴史



**エジプト
ポートサイド**
憧れの世界遺産を前に高まる期待。世紀を超えて謎を解き解るピラミッドと出会う



**ギリシャ
サントリーニ島**
絶景のエーゲ海で綴るロマンチックなひととき。“青と白”が包むサントリーニ島へ



**トルコ
クシャダス**
美しいビーチやトルコグルメも！エフェソス遺跡を満喫するクシャダスを満喫



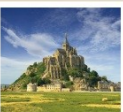
**ギリシャ
ピレウス**
神話のふるさとに流れる豊かな時間。遺跡探訪も街歩きも楽しいアテネを満喫



**イタリア
カタニア**
地中海の恵みを味わう“口福”なひととき。お腹も心も満たす絶品料理シチリア料理



**スペイン
バレンシア**
歴史ある街並みと未来的な建築が共存し、古き良き風情と新しい魅力が息づく美しい街



**フランス
ル・アーブル**
フランスの歴史をその姿に宿して。“絶景の修道院”、世界遺産モン・サン・ミッシェルへ



**オランダ
アムステルダム**
きらめく運河が誘うアムステルダムで、美しい景観と芸術の息吹を感じる街歩きを



**ノルウェー
オスロ**
自然に根差した北欧デザインと現代建築の融合。街を彩る数多のアートを訪ねて



**スウェーデン
ストックホルム**
歴史とモダンが調和する美しい街へ。石畳の道を歩きながら、穏やかな時間を過ごす



**フィンランド
ヘルシンキ**
コーヒーブレイクも街歩きも楽しみ。ゆるやかな時間の流れるヘルシンキを体感する



**エストニア
タリン**
中世の面影を残すおとぎ話の世界。バルト三国・エストニアの首都、タリンの街へ



**ポーランド
グダンスク**
バルト海沿岸の歴史豊かな港町。ポーランド北部・グダンスクで“東欧の今”を感じて



**デンマーク
コペンハーゲン**
北欧のぬくもりに心ときめく旅時間。爽やかな海風に誘われて歩く、メルヘンの街



**米国
ニューヨーク**
日々新たな文化が生まれる世界都市。数多のランドマークひしめくエキサイティングな街



**ジャマイカ
オーチャリオス**
光輝く太陽に、トロピカルな雰囲気あふれるビーチ。カリブ海のリゾートへ



**パナマ
コロ**
先住民族の人びとが守り継ぐ美しい手仕事。中米の豊かな自然と文化にふれる時間



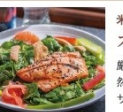
**メキシコ
マンサニージョ**
メキシコの太陽に誘われてリゾート気分を堪能。“太平洋のエメラルド”マンサニージョ



**米国
サンフランシスコ**
風光明媚な街並みにグルメにショッピングも！米国西岸の人気都市で充実のひとときを



**米国
ケチカン**
この地に残る伝承を訪ねて。アラスカ最南端の街で出会う、豊かな先住民族の文化



**米国
スワード**
厳しくも美しいアラスカの大自然が生んだ、地元の特産品サーモングリルに舌鼓を



**米国
スワード**
厳しくも美しいアラスカの大自然が生んだ、地元の特産品サーモングリルに舌鼓を



パシフィック・ワールド号でゆくピースポート地球一周の船旅
2030年4月 Voyage135
横浜発着108日間 2030.4.19 (金)~8.4 (日)

日程		寄港地	
4.19 金	出航 午後	横浜	
4.24 水	入港 朝 出港 深夜	香港	
4.29 月	入港 朝 出港 深夜	シンガポール	
5.4 土	入港 朝 出港 夜	コロンボ	スリランカ
5.14 火	入港 早朝	サファガ	エジプト
5.15 水	出港 夜		
スエズ運河通航			
5.17 金	入港 午後	ポートサイド	エジプト
5.18 土	出港 深夜		
5.20 月	離泊 朝 発 夜	サントリーニ島	ギリシャ
5.21 火	入港 午前 出港 夜	クシャダス	トルコ
5.22 水	入港 午前 出港 夜	ピレウス	ギリシャ
5.24 金	入港 午前 出港 夜	カタニア	イタリア
5.27 月	入港 朝 出港 夜	バレンシア	スペイン
6.1 土	入港 午前 出港 深夜	ル・アーブル	フランス
6.3 月	入港 早朝 出港 午後	アムステルダム	オランダ
6.5 水	入港 午前 出港 夜	オスロ	ノルウェー
6.8 土	入港 午後	ストックホルム	スウェーデン
6.9 日	出港 午後		
6.10 月	入港 午前 出港 深夜	ヘルシンキ	フィンランド
6.11 火	入港 早朝 出港 夜	タリン	エストニア
6.13 木	入港 朝 出港 夜	グダンスク	ポーランド
6.15 土	入港 朝 出港 夜	コペンハーゲン	デンマーク
ソグネフィヨルド遊覧			
6.27 木	入港 朝	ニューヨーク	米国
6.28 金	出港 深夜		
7.3 水	入港 朝 出港 夜	オーチャリオス	ジャマイカ
7.5 金	入港 午後	コロソ	パナマ
7.6 土	出港 早朝		
パナマ運河通航			
7.11 木	入港 午前 出港 夜	マンサニージョ	メキシコ
7.16 火	入港 朝	サンフランシスコ	米国
7.17 水	出港 夜		
7.21 日	入港 朝 出港 夜	ケチカン	米国
アラスカフィヨルド遊覧			
7.25 木	入港 朝 出港 午後	スワード	米国
8.4 日	帰港 午後	横浜	

※訪問地や航路は、天候や海の状況による船長判断、その他の理由により変更する場合があります。

0:00～	4:00～	6:00～	8:00～	12:00～	18:00～	23:00～
深夜	早朝	朝	午前	午後	夜	深夜

※訪問地や航路は、天候や海の状況による船長判断、その他の理由により変更する場合があります。

0:00～	4:00～	6:00～	8:00～	12:00～	18:00～	23:00～
深夜	早朝	朝	午前	午後	夜	深夜

多様なニーズに合わせて選べる船室の数々

プライベート空間でも海を身近に感じられる、海側に面した船室を豊富に備えたパシフィック・ワールド号。旅の目的に合わせ、自由にお選びいただける船室設定です。



ご確認事項

- 天候や現地事情の影響により、入出港日時の変更や抜港になる場合がございます。
- 本船が沖合に停泊し、テンドーポートなどを使用して上陸する寄港地では、気象条件によっては上陸できない場合がございます。
- この旅行は地球の遠隔地への航海であり、天災地変、政治状況の悪化、現地官憲の命令など、当社が関与し得ない事由が生じた場合、乗船客の安全を第一と考え、また航海の安全を考慮し、お客様に事前に、あるいは緊急の場合は変更後にお知らせし、旅行日程、旅行サービスの内容を変更する場合がございます。
- 航海日程は船長や船会社の判断によっても変更される場合があります。
- 上記のような不可抗力による変更の場合でも、払い戻しは一切ございませんので、予めご了承ください。
- 本パンフレット記載の寄港地に関する案内文および写真の一部は、オーバーランドツアー含むオプションツアー（有料）に参加された場合にお楽しみいただける内容を含んでおります。
- オーバーランドツアーは寄港地で一時下船して別の港で再合流するツアーです。
- 本パンフレットに掲載の写真は、お客様にピースポートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去のクルーズで撮影された写真も含んでおります。また、季節に関わりなく全て旅のイメージです。
- ご自宅から集合・解散地等発着港までの交通費は含まれません。